予算決算特別委員会（傍聴者2人）

▼主な質疑

◆平成28年度下仁田町一般会計補正予算（第5号）

問　急傾斜地対策で減額が大きいが理由は

答　県の事業である急傾斜地崩壊対策事業2カ所分の町負担金であるが、全体事業費が9000万円から2988万円に下がったため、比例して町の負担金も減額となっている。

◆平成28年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）

問　下水道普及率が県下でも最低の理由は。

答　高齢者世帯や、場所が悪く設置が困難だったり自腹の工事費が高かったりする場合には難しい。

問　共同で合併浄化槽を使用することも可能か。

答　可能である。

◆平成29年度下仁田町一般会計予算

【歳入】

問　町民税滞納分の徴収方法は。

答　通常の納税通知書発送後、督促状の発送となる。その後、月末の課職員による電話催告、全庁一斉滞納整理、夜間滞納整理を行い、さらに預金調査等の後差し押さえを行っている。

問　固定資産税収入額の増額理由は。

答　28年度実績見込みに、新築軽減のない大きな別荘を含む別荘の新築および住宅ローン金利の低下による新築住宅の建築増等を加味した。

問　軽自動車税収入額の増額理由は。

答　13年経過した軽自動車は14年目から重課になり新車も税額が上がった新税率となるため。

問　荒船風穴の入場見込と昨年の実績は。

答　一般入場者500円を1万1880人、歴史館入場割引者300円を200人で600万円見込んでいる。昨年は、全体で1万3161人の方が見学に来られた。

【歳出】

問　荒船風穴に行くルートで県道浅科線に待避所をあと3カ所設ければ、休日の交通規制をしなくても屋敷地区からの一方通行のみで可能ではないか。

答　荒船風穴保存整備委員会に富岡土木事務所の担当もいるので検討をしていきたい。

問　消防団員勧誘方法を変えていく必要性は。

答　機能別団員制度を作り、消防団OBに入っていただきたいと考えている。これは昼間の火災等に出動できる制度で、4月から運用していく予定であり、様子を見ていきたい。

問　防火水槽の工事請負費について。

答　東町、大桑原、役場敷地内の3カ所を予定している。

問　防災無線施設のバッテリー交換頻度は。

答　メーカー推奨期間は5年間で、5年を過ぎると設置された場所にもよるが正常に機能しなくなる恐れがある。5年間で交換していれば防災無線の機能は維持できる。

問　子育て支援基金の積み立て財源は何か。

答　ふるさと下仁田応援寄附金の子育て支援目的のもので、平成29年度の充当先は、入学祝金と保育料無料化分です。

　また、新たに子育て支援事業で充当できるものがあれば、随時対応したい。

問　新年度の教育方針と予算関係、さらに2020年の教育改革に向けての準備について。

答　学習指導要領の改定での大きな変更点は、主に小学校5・6年生の外国語活動が外国語に、3・4年生に外国語活動が導入され、高学年では中学と同様に週29時間と授業時間が増える。道徳は「特別な教科道徳」となり、ICT関連の※プログラミング学習については、タブレット等を小中学校予算に計上している。

プログラミング教育

※プログラミング・・・
コンピュータのプログラム作成